

令和2年度進捗評価シート

奈良市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定） （最終変更 令和3年3月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の実施・推進体制	1
--------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画	2
--------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業(平成28年度で事業完了)	
2 史跡興福寺旧境内保存修理事業	3
3 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)(平成28年度で事業終了)	
4 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業)	4
5 町家建物内部改修モデル事業(平成27年度で事業終了)	
6 奈良町町家バンク事業	5
7 文化財調査事業	6
8 三条線電線類美化事業	7
9 猿沢線街路整備事業	8
10 歴史的風致形成建造物保存整備事業	9
11 ナラ枯れ等対策事業	10
12 奈良のシカ保護育成事業	11
13 伝統的建築文化継承事業	12
14 なら工芸館活用事業	13
15 伝統祭礼・行事助成事業	14
16 奈良大茶会珠光茶会開催事業	15
17 春日大社写生会及び清書会開催支援事業	16
18 なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業	17
19 入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	18
20 入江泰吉旧居活用事業	19
21 奈良町にぎわいの家活用事業	20
22 観光案内板・名所解説板等整備事業	21
23 文化財解説板整備事業	22
24 奈良まちかど博物館事業	23
25 観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)	24
26 史料保存館活用事業	25
27 文化財講座開催事業	26
28 奈良町おもてなし事業(平成30年度で事業終了)	
29 地域の伝統行事発信事業	27

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財調査、指定	28
2 文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全	29
3 文化財の防災	30
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	31

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

	32
--	----

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 「観光の振興」に向けた官民協働の取組	33
----------------------	----

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)

	34
--	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
計画の実施・推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

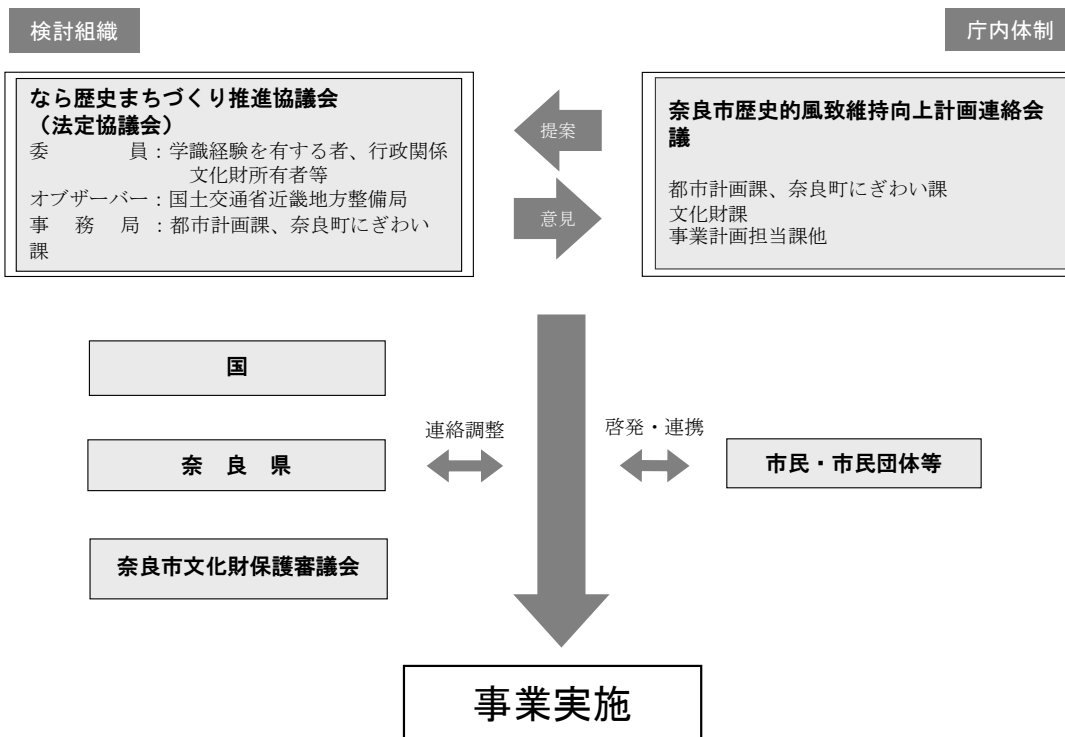
計画に記載している内容 景観まちづくりの担当部局である都市整備部都市計画課、観光担当部局である観光経済部奈良町にぎわい課、文化財保護担当部局である教育部文化財課を中心とした庁内組織である「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「なら歴史まちづくり推進協議会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年2月24日に「なら歴史まちづくり推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



なら歴史まちづくり推進協議会の様子
(令和3年2月24日撮影)

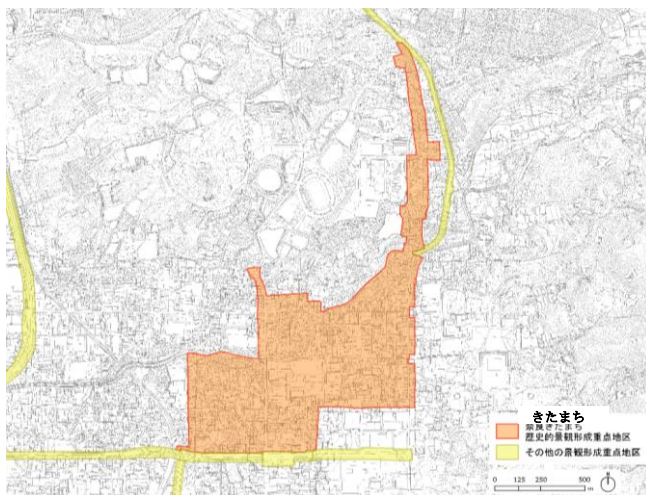
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
景観計画		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	奈良市景観計画においては、市全域を景観計画区域に指定し、景観形成の方針やデザインガイドラインを定めている。また、元興寺周辺については奈良町歴史的景観形成重点地区に指定し、歴史的な町並みに配慮したきめ細かな景観の誘導を図っている。また、三条通り、大宮通りを沿道景観形成重点地区、近鉄奈良駅周辺とJR奈良駅周辺はまちなか景観形成重点地区に指定し、都市的な景観と歴史的な景観との調和を図っている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
奈良市眺望景観保全活用計画に基づく眺望保全、また奈良町の歴史的風致の維持向上をより効果的に推進するため、現在の地区を拡大し、「ならまち歴史的景観形成重点地区」並びに「きたまち歴史的景観形成重点地区」の追加指定を含む景観計画の改正を平成28年度に行った。なお、「奈良町都市景観形成地区」の令和2年度の届出数は、10件であった。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

●きたまち歴史的景観形成重点地区

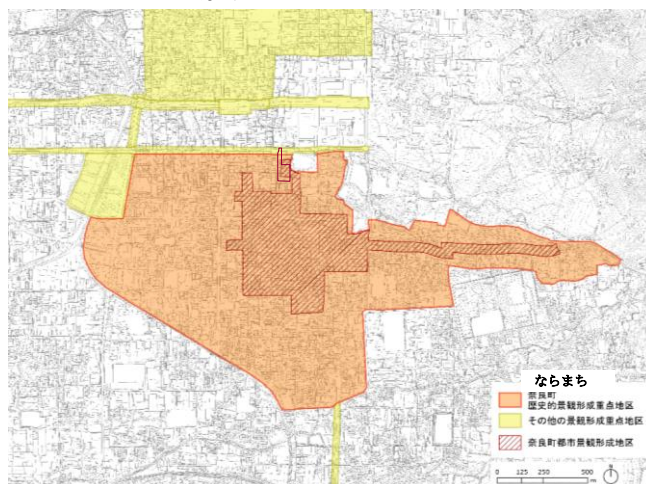


●奈良市を代表する眺望景観



大池からの眺望

●ならまち歴史的景観形成重点地区



平城宮跡からの眺望

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
史跡興福寺旧境内保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成10年度～令和6年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存活用事業費補助金、県単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)	
計画に記載している内容	興福寺旧境内の主要堂宇地区及びその周辺地区において、遺構等の保存・活用整備を行う。発掘調査を実施し、その成果に基づいて基壇の復元や表示による整備を行う他、案内板、解説板、管理用の柵や門等の整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付。 事業内容: 令和2年度は、経蔵基壇整備工事・管理用柵設置工事・東金堂院及び鐘楼発掘調査を実施。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	整備については、史跡整備検討委員会に諮り、現状変更等許可申請を文化庁に申請し、実施方法・史跡の影響などについて協議を行っている。	
状況を示す写真や資料等		
 ●経蔵基壇整備工事 (令和3年4月13日撮影)		

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成 6年度～令和2年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和2年度、単独事業 平成6年度～	
計画に記載している内容	奈良町都市景観形成地区内の歴史的な町並み景観を保全するため、空き地などに景観形成基準に適合する建築物や工作物を新築するときに、修景事業とし補助金を交付する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成28年度は2件実施し、累計で63件となったが、平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度は応募がなかったため実施していない。 平成29年度の補助要綱改正により、修景内容について地域で活躍する建築士から意見を聴取し、より良い内容で修景できるよう制度を整えている。令和2年度は応募に至った2件について、制度が利用された。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

●令和2年度補助実績

なし

●令和2年度 意見聴取事例

R2
 <修景3> R2相談
 現状：店舗

昭和14年頃建築
 昭和20～30年代増築
 昭和40年代以降改造

建築当初の部分は残っているが、通りに面した箇所は昭和20～30年代に増築され、その後、改造が行われている。

①計画

<計画>

<意見>

西面

- ・2階は塗り込めたほうが良い
- ・軒裏の意匠を整えるため柱から腕木を出し出桁を設けたほうが良い
- ・底が300と出が短いので、木割を細くしたほうが良い
- ・北西面の柱と建具の柱が近すぎるため、半間の壁を設けたほうが良い

北面

- ・2階は塗り込めたほうが良い
- ・勝手口はまぐさを設ける

<2階の外壁塗り込めの参考事例>

①修景事業相談調査：森岡家貸家(今御門町27-1)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
奈良町町家バンク事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 登録したい人への説明会や登録物件の測量、町家の改修・活用事例の紹介、貸主と借主の仲介などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町家バンクの登録希望者に対しては随時面接を実施して制度について説明をしたのち、登録を行っている。利用希望者に対しては現地説明会を実施、貸主と借主の引き合わせを行っている。併せて、登録物件の調査を行い、ホームページで公開した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●町家バンクの登録状況 ※件数は平成23年7月～の累計数、()内は令和2年4月～の累計数

登録物件数 33件 (2件)
 利用希望者数 321件 (7件)
 成約数 19件 (0件)

●成約物件の活用事例 ※件数は平成23年7月～の累計数、()内は令和2年4月～の累計数

住居 3件 (0件)
 店舗 9件 (0件)
 ゲストハウス 3件 (0件)
 カルチャー教室 3件 (0件)
 工房 1件 (0件)



成約物件写真(令和元年12月成約)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	歴史資料調査 平成8年度～ 近世近代建造物調査 平成24年度～ 庭園調査 平成24年度～		
支援事業名	市単独事業（庭園調査は奈良市と奈良文化財研究所）		
計画に記載している内容	未指定・未登録文化財の調査及び資料収集を行い、その実態把握に努め、指定・登録など今後の保護を推進するための基礎資料を作成する。歴史資料調査、近世近代建造物調査、庭園調査等を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
<歴史資料調査>大宮家文書の調査を実施 <近世近代建造物調査>民家2件の詳細調査を実施。 <庭園調査>報告書を作成。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



●近世近代建造物調査
（令和2年12月3日撮影）

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
三条線電線類美化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 無電柱化推進計画補助事業及び市単独事業の活用を検討(平成28年度～令和6年度)

計画に記載している内容 三条通の上三条町から登大路町までの区間(延長約800m)の電線類の地中化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

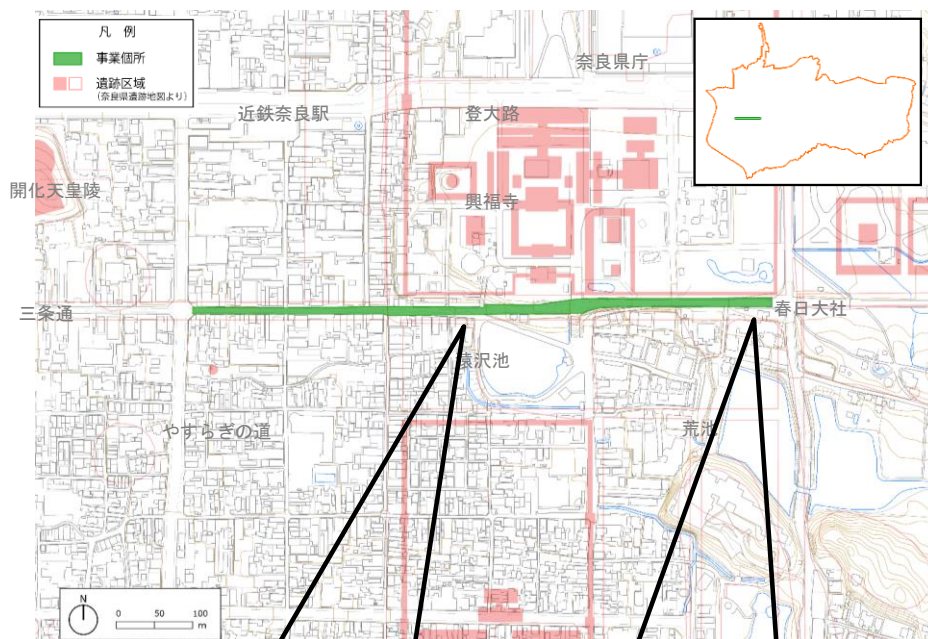
令和元年度は、無電柱化の推進に関する法律に基づき「奈良市無電柱化推進計画」を策定し、市内で優先的に無電柱化に取り組む箇所の考え方や推進方策などをとりまとめた。令和2年度は、同計画に位置付けられた市道三条線の無電柱化事業について、特に猿沢池西側から一の鳥居前までの整備に向けて、関係機関等との協議を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●三条線電線位置図(緑着色部分)



猿沢池西側
(令和2年4月14日撮影)



一の鳥居前
(令和2年4月14日撮影)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況			
猿沢線街路整備事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手			
事業期間	平成27年度～令和6年度					
支援事業名	市単独事業、防災・安全交付金(街路事業)の活用を検討					
計画に記載している内容	猿沢線の鶴福院町区間(延長120m)の道路拡幅を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
地元でまちづくり研究会が立ち上がり、道路拡幅も含めたまちづくりについて話し合いが行なわれている。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地元まちづくり研究会の動向を伺う。					
状況を示す写真や資料等						

●現況写真



(令和2年12月16日撮影)



(令和2年12月16日撮影)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業(修理事業)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～令和2年度（平成27、28年度は、奈良町都市景観形成地区を除いた範囲で実施）		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和2年度		
計画に記載している内容	奈良町及び奈良公園地区内にある、建築物の外観修理に対して補助金を交付する。奈良町都市景観形成地区以外に点在している、歴史的建造物資産をいかに保存活用するかが大きな課題であり、その課題に戦略的に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度から補助要綱を改正し、教育委員会や民間団体と連携し、修理内容の質の担保に努めた。平成30年度からは解体中の痕跡調査を実施し、建物の痕跡等の記録を残すなど、歴史的風致の維持向上に努めている。令和2年度は5件の助成を行った(累計23件)。そのうち、4件は空き家等で未利用だったが、当該事業を機に内部改修等も実施されるなど、歴史的建造物の利活用が促進された。(利活用が促進された物件累計数15件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

●令和2年度補助実績（※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。）

	所在地	用途		内 容	補 助 額(円)	補 助 率
		事業前	事業後			
1	薬師堂町	空き家	貸店舗	木部補修、塗装塗替	1,346,000	80%
2	芝辻町	空き家	住宅	屋根葺替、外壁塗替ほか	10,000,000	80%
3	川之上町	住宅	住宅	屋根葺替、外壁塗替ほか	3,564,000	80%
4	中辻町	空き家	住宅	屋根葺替、外壁塗替ほか	10,000,000	80%
5	大豆山町	空き家	貸店舗	屋根葺替、外壁塗装ほか	1,020,000	80%

○修理工事例（令和2年度 No.1）



【修理前】 令和元年8月20日撮影



【修理後】 令和2年8月12日撮影

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
ナラ枯れ等対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 県単独事業

計画に記載している内容 ナラ枯れや鹿害への対策を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年8月に春日山原始林周辺で現地調査を実施した結果、ナラ枯れ被害を確認した。ナラ枯れ被害対策として、平成22年度に138本、平成23年度に363本、平成24年度に1,267本、平成25年度に2,220本、平成26年度に1,177本の駆除及び防除を実施した。平成27年度から令和2年度においては、奈良県が航空機による調査を実施したところ、ナラ枯れ被害が減少していることが確認されている。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



●春日山原始林周辺の様子
(奈良県提供:令和2年9月28日撮影)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
奈良のシカ保護育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	県・市・春日大社共同事業		
計画に記載している内容	一般社団法人奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブへの補助を行い、頭数調査などの調査研究、負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール、人と鹿の共生のための各種イベント、角伐りなどの伝統行事を行う。 また、鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良のシカの生態調査のため、頭数調査を行った。負傷・疾病シカの救助、保護を実施することで奈良のシカの健全な育成を推進した。鹿寄せや、鹿の角きり等の行事、イベントを実施し、シカを身近に感じてもらい、奈良のシカ保護育成への啓発を行った。 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は角きり行事を実施せず。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

- 令和2年度「奈良のシカ」生息頭数調査
- ・調査日時: 令和2年7月15日・16日 午前5時30分～8時00分
- ・調査地域: 奈良公園域内(図面参照)
- ・調査人員: 延べ51人

- 奈良公園の鹿の総数1,670頭
(うち鹿苑内収容頭数384頭)
(令和2年7月16日現在)

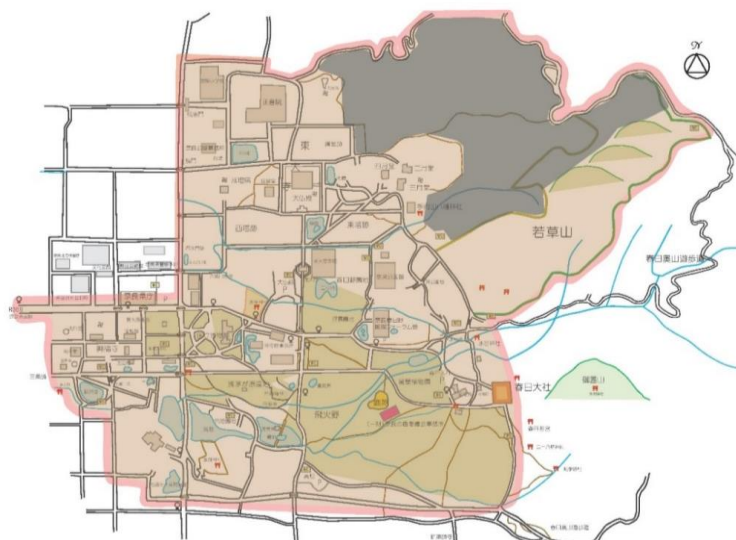
- ①奈良公園内生息頭数
 - 総頭数 : 1,286頭 (前年比-102)
 - オス : 224頭 (前年比-133)
 - メス : 808頭 (前年比 +52)
 - 子鹿 : 254頭 (前年比-21)
- ②鹿苑内保護収容頭数
 - 総頭数 : 384頭 (前年比+91)
 - オス : 221頭 (前年比+51)
 - メス : 163頭 (前年比+40)



●鹿の角きり行事 (令和2年度は中止)
(令和元年10月撮影)

参考資料

「奈良のシカ」頭数調査範囲

調査エリア
(図面を参照)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
伝統的建築文化継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	奈良の伝統的な社寺や町家等に用いられている建築技術の保存に向けたノウハウを伝え、後継者を育成するための講座の開催、建築の伝統的な技法に関する相談窓口の開催、また具体的に町家の修理や活用の実践などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
公益社団法人日本建築家協会JIA文化修復塾・近畿支部保存再生会の「JIA文化財修復塾近畿支部現地講習」を令和3年3月20日に依水園で開催した。保存すべき文化的価値の高い建造物等の発掘・把握事業、保存に向けての啓発事業、保存に伴う技術の継承と方策提案事業、修理、改修・利活用についての話を行った。(参加者14人)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
  JIA建築修復塾 現地講座の様子 (令和3年3月20日撮影)			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
なら工芸館活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成12年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	奈良の工芸である漆器、一刀彫、赤膚焼、乾漆、古楽面、筆、墨、奈良晒、鹿角細工等の作品や制作道具等を展示する。また、伝統工芸品の斡旋販売も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、イベントの休止や施設閉館などを余儀なくされ、計画に記載している内容の縮小や休止を行ったことから、昨年以前に比べて歴史的風致維持のための取組を行うことができなかったが、コロナウイルスの状況を見ながら、年間での制作体験教室など、実施可能と判断された事業は積極的に行ってきた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症対策を施すために館内の整備を行うとともに、イベントの運営方法なども見直していく。		
状況を示す写真や資料等			

●若手作家による制作実演の様子

(参考)過去3年間の入館者数

平成30年度 47,198人

令和元年度 41,944人

令和2年度 20,275人



令和2年11月3日撮影



令和3年1月30日撮影

●制作体験教室の様子

●制作体験教室

過去3年間の参加者数

平成30年度 522人

令和元年度 195人

令和2年度 137人



令和2年12月11日撮影



令和2年12月20日撮影

●奈良工芸フェスティバル 展示・販売の様子

●奈良工芸フェスティバル

過去3年間の入場者数

平成30年度 5,774人

令和元年度 6,417人

令和2年度 中止



令和元年11月3日撮影



令和元年11月3日撮影

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
伝統祭礼・行事助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伝統祭礼・行事である春日若宮おん祭、薪御能、采女祭等を行う団体に助成する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

奈良市観光協会より伝統行事の保存会等へ補助金を交付することで、各種行事を実施し、多くの市民及び観光客等に、伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止および規模を縮小して開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 春日若宮おん祭(奈良市観光協会より助成)
 【主催】春日若宮おん祭保存会
 令和2年12月15日:大宿所詣、御湯立、大宿所祭
 令和2年12月16日:大和土宵宮詣、田楽座宵宮詣、宵宮祭
 令和2年12月17日:遷幸の儀、暁祭、本殿祭、お渡り式、
 (規模縮小) お旅所祭、神楽、東遊、
 田楽、細男、猿楽、舞楽、和舞、還幸の儀



●おん祭お渡り式
(令和2年度は規模縮小)

- 薪御能(奈良市観光協会より助成)
 【主催】薪御能保存会
 令和2年度は中止

- 采女祭(奈良市観光協会より助成)
 【主催】采女祭保存会
 令和2年10月1日開催 ・花扇奉納神事
 (一般公開なし)



●管絃船の儀



●花扇奉納行列

(いずれも令和2年度は実施せず)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
奈良大茶会珠光茶会開催事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	観光戦略課と奈良市観光協会で珠光茶会実行委員会の事務局を担当		
計画に記載している内容	茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「奈良大茶会珠光茶会」を開催する。お茶席の開催だけでなく、その他のお茶に関する企画等も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度珠光茶会は全てのお茶席の開催を中止することとなりましたが、お茶文化を発信するため、過去の珠光茶会(社寺会場)で配付した小冊子を再編集した『小冊子(総集編)』と若年層(小学生高学年及び中学生)向けの『茶道マンガ教材』を作成し、配付します。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



写真左)過去の小冊子の総集編

写真右)若年層向け「茶道マンガ教材」

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
春日大社写生会及び清書会開催支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	世界遺産春日大社で開催される写生会及び清書会に対する助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		次年度においても、公募において補助金を募集し、交付対象事業に選定されれば補助金を交付する。	
状況を示す写真や資料等			
※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催中止			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
なら国際映画祭開催支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	なら国際映画祭 平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なら国際映画祭では、プロジェクションアートや新人監督作品や学生映画作品などの上映を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は、プレイベントとして、星空上映会、尾花座復活上映会、ユース映画製作ワークショップを実施、本祭としてなら国際映画祭2020が開催された。プレイベントは712人、本祭には30,000人の一般客を動員した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和3年度も、公募により交付事業として選定された場合、補助金を交付する。奈良市中心のふるさと応援寄附補助金については継続して交付する。	
状況を示す写真や資料等			



令和2年8月23日・24日 ユース映画製作ワークショップ
(令和2年8月24日撮影)



本祭 オープニング

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	入江泰吉氏の写真芸術は、奈良市民の誇りであるとともに、奈良市にとって貴重な財産であり、それらを活かしながら、文化振興計画及び創造都市の理念に基づいた文化政策を達成するため、2年に一度入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年6月1日～7月31日に両賞第四回の作品募集を行い、第四回入江泰吉記念写真賞には103点、ならPHOTO CONTESTには563点の応募があった。8月に審査会を実施し、各受賞者を決定した。令和3年2月20日-3月28日には受賞作品展覧会を入江泰吉記念奈良市写真美術館において実施予定。また、入江泰吉記念写真賞受賞作の写真集を2月19日に発行予定で制作を行っている。 継続して事業実施をすることで、奈良を代表する写真家・入江氏の功績を顕彰するとともに、本市の写真文化のさらなる発展に寄与する事業である。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		継続実施するなかで、本賞への支援者をより増やすことのできる企画を検討・実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



第四回入江泰吉記念写真賞受賞 岩波友紀「紡ぎ音」(99枚組)


 第四回なら PHOTO CONTEST なら賞
 受賞
 川口重一「新たな季節」(3枚組)

 第四回なら PHOTO CONTEST 日本経済新聞社賞
 受賞
 乾井義實「大きな樹の下」(3枚組)

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
入江泰吉旧居活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 平成27年3月に開館する「入江泰吉旧居」において、文化講座や暗室の活用等の事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業は写真家・入江泰吉を偲ぶことのできる講演や、周辺の歴史文化を学ぶことのできる講座等を開催したが、新型コロナウイルス感染症のため事業の縮小を余儀無くされた。令和2年度は9件(指定4件/自主5件)の事業を実施し、延べ175人(指定142人/自主33人)の参加があった。また、入館者数は3,101人と前年に比べ、-51.6%と落ち込んだ。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画通り進捗している
☒計画どおり進捗していない

コロナ禍の影響で、8件(指定4件/自主4件)の事業を中止した。実施する場合も感染予防対策を施した上で、参加人数の制限、いかなる状況にも対応できるよう当方で対応できる事業を中心に展開した。

状況を示す写真や資料等

〈講座風景〉



入江泰吉さんぼみち



写真美術館出張・作品講評



歴史散策ツアー



入江泰吉旧居で、はじめの一句



入江泰吉と奈良ゆかりの人々



入江泰吉の眼を歩くー飛鳥の里ー

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
奈良町にぎわいの家活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の方々が、集い、楽しみ、伝えあう地域コミュニティの活動拠点とするとともに、奈良町観光の拠点の一つとして、外国人や修学旅行生などの文化交流の体験施設として活用し、さらには、大学とコラボレーションすることにより、茶道や伝統行事等の奈良町文化の発信基地とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大正6年に建築された旧大西家住宅を修理・改修し、平成27年4月18日から奈良町にぎわいの家として一般公開している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策としてイベントの募集人数の制限や密になりやすい講座を減らし展示企画を充実させるといった対応を行い、施設の目的である奈良町文化の発信及び継承に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

実施事業	令和2年度		令和元年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数
総数	170回	634人	181回	2,598人
体験イベント	48回	428人	96回	2,071人
・季節行事	3回	14人	5回	20人
・四季の料理	0回	0人	4回	134人
・茶会	0回	0人	6回	228人
・くらし文化体験など	42回	385人	34回	1,041人
・その他	3回	29人	47回	648人
講座	8回	106人	21回	317人
・二十四節気講座	0回	0人	3回	28人
・奈良町の風習	4回	64人	7回	150人
・町家講座	4回	42人	4回	67人
・暮らしの歌(短歌)	0回	0人	3回	31人
・気軽に遊び講座	0回	0人	1回	10人
・その他	0回	0人	3回	31人
その他	114回	100人	65回	211人
・展示(花・アートなど)	106回	—	63回	209人
・町家相談会	0回	0人	1回	1人
・その他	8回	100人	1回	1人

過去の実績	回数	参加人数
平成27年度	82回	2,186人
平成28年度	138回	2,523人
平成29年度	153回	3,964人
平成30年度	213回	2,830人



●体験イベント(水墨画体験)
(令和2年9月8日撮影)



●講座(わが家にレコード(LP版)が
やってきた (令和3年2月6日撮影)



●展示(春日大社ゆかりの品を身
近に)(令和3年2月6日撮影)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
観光案内板・名所解説板等整備事業		現在の状況	
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(奈良町及び奈良公園重点地区内)、市単独事業(奈良町及び奈良公園重点地区外)		
計画に記載している内容	観光案内板の設置		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は、きたまちエリアに観光名所解説看板を3基、指示標識を4基、奈良町観光案内看板を3基設置した。(平成25年度からの新規設置数(累計)は、観光案内看板21基、観光名所解説看板26基、指示標識8基) また、平成28年度より運用を開始したQRコードによる観光案内板等多言語化対策として、本年度作成した看板にも「きたまち」を紹介するQRコードを設置した。(多言語は11言語に対応)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●令和2年度 観光案内看板・観光名所解説看板設置実績

No.	設置場所(施設名等)	種別
1	佐保川に架かる石橋(今在家町)	観光名所解説看板
2	興善院町と夕日地蔵(興善院町)	
3	黒髪山稲荷神社(奈良阪町)	
4	佐保川石橋付近(今在家町)	指示標識
5	奈良阪計量器室付近(川上町)	
6	若草公民館付近(川上町)	
7	奈良豆比古神社付近(奈良阪町)	奈良町観光案内看板
8	奈良阪計量器室付近(川上町)	
9	般若寺付近(般若寺町)	
10	奈良豆比古神社付近(奈良阪町)	

●観光名所解説板・指示標識設置事例(N0.1・No.6 令和3年3月31日撮影)



●多言語対応QRコードステッカー



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況			
文化財解説板整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	毎年					
支援事業名	市単独事業(県文化資源活用補助金を活用)					
計画に記載している内容	指定・登録文化財の内容や価値を解説する文化財解説板を設置する。(毎年3箇所程度)					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
市内の指定文化財等の内容や価値を周知し、その保存活用について理解と関心を深めてもらうために、所在地に対象文化財の内容説明文を中心に、周辺文化財を含めた位置図ならびに外国語(英・中・韓)による名称表記を添えた解説板を設置している。令和2年度には5基を製作し、平成19年度に現行形式での解説板設置を始めて以降の設置数は69基となる。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						



●奈良市指定文化財(八幡神社中門)解説板
(令和3年3月4日撮影)

評価軸③-24

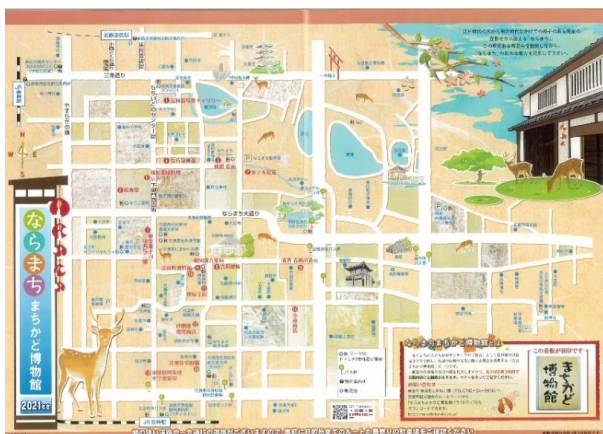
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
奈良まちかど博物館事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成15年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	いままでの博物館とは違い、地域の人たちがボランティアの館長として仕事場の一角や個人の収集品等を公開し、地域の伝統の技や文化に触れる機会を提供する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
奈良きたまち地区は平成15年度に10館が開館(平成26年度に2館が開館)、ならまち地区は平成21年度に20館が開館(26年度に2館が閉館、28年度に2館が閉館、29年度に1館が開館)している。 また、平成28年度から各館長にアンケートを実施し、内容をイラストMAPに反映させ毎年更新するなど、令和2年度も事業のよりよい運営を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



●きたまちまちかど博物館MAP



●ならまちまちかど博物館MAP

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年(市単独事業)、平成28年度(集約促進景観・歴史的風致形成推進事業)		
支援事業名	市単独事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業		
計画に記載している内容	ならまちの夜の魅力を発信するとともに観光客が奈良市内で宿泊する動機づけを高めることを目的とした「真夏の元興寺寄席」を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルスの影響により、例年行っている「真夏の元興寺寄席」の開催が困難な為、今年度は「真夏の元興寺オンライン寄席」として、YouTubeでの配信を行った。また、関東圏(東京・神奈川・埼玉・千葉)へのYouTube広告を行い、課題である近畿圏以外の広報の拡充を行うことが出来た。総視聴回数は、39,448回であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●令和2度 真夏の元興寺オンライン寄席 実施状況

演目: 落語・講談

配信日	視聴回数
【奈良町編】 令和2年7月23日(木)17時～8月7日(金)	19,935回
【怪談編】 令和2年8月8日(土)17時～8月23日(日)	19,513回

真夏の元興寺オンライン寄席
チラシ

YouTube 奈良町編 サムネイル



奈良町編 配信の様子



怪談編の配信の様子

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
史料保存館活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	館蔵品を活用し、古文書や絵図等の展示や講座を開催する。(企画展示2回、スポット展示5回、歴史講座1~2回程度)また、奈良町の歴史・文化資料の利活用促進のため、館蔵品のデジタルアーカイブ化を行い、ウェブ上で公開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
館蔵の歴史資料を活用した企画展示を4回、スポット展示の後継である特別陳列「ならまち歳時記」11回、館蔵史料特別公開を5回、歴史ミニ講座6回、また周辺施設や団体との共催事業として、奈良町にぎわいの家での出張展示3回、展示テーマにちなむ解説付きガイドツアー(観光ボランティアの会と共催)1回を開催。この他、ならまちわらべうたフェスタに参加し、展示品を活用したクイズを行った。これらを通して、歴史と文化を活かしたまちづくりへの理解を深める機会とした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、休館期間中の展示や一部の事業は中止となったが、対面式の講座をパネル展示に変更すること等で対応し、事業の実施に努めた。		

状況を示す写真や資料等

- 「企画展示」 (人数)
- | | | | |
|-----------------------|----------|--------------|--------|
| 町記録の魅力ー書き継がれた300年の歴史ー | 6月 2日(火) | ～ 7月19日(日) | 2,018人 |
| 神仏への祈りー奈良町・周辺地域の信仰資料ー | 7月21日(火) | ～ 9月27日(日) | 3,473人 |
| 麻の最上 奈良晒ー南都随一の産業ー | 9月29日(火) | ～ 1月11日(月・祝) | 5,494人 |
| おかげまいりー伊勢参宮と奈良町ー | 1月13日(水) | ～ 3月31日(水) | 3,410人 |
- 「特別陳列 ならまち歳時記」／「館蔵史料特別公開」
- | | | | |
|-------------------------------|-----------|------------|--------|
| 奈良の桜 植桜楓之碑 | 4月 1日(水) | ～ 4月 9日(木) | 403人 |
| 薪能／引き札 | 5月 8日(金) | ～ 5月31日(日) | 中止 |
| 奈良の鹿／三条村野神絵馬 | 6月 2日(火) | ～ 6月28日(日) | 1,175人 |
| 奈良の酒 | 6月30日(火) | ～ 7月19日(日) | 870人 |
| 奈良奉行と万燈籠／戦時下の奈良町 | 7月21日(火) | ～ 8月23日(日) | 1,617人 |
| 芭蕉の句と大和名所／尾花座 | 8月25日(火) | ～ 9月27日(日) | 1,856人 |
| 鹿の角きり | 9月29日(火) | ～10月18日(日) | 1,212人 |
| 正倉院御開封之図 | 10月20日(火) | ～11月15日(日) | 1,872人 |
| 春日若宮おん祭 | 11月17日(火) | ～12月20日(日) | 1,739人 |
| 奈良暦 | 12月22日(火) | ～ 1月11日(月) | 573人 |
| 興福寺小絵馬 | 12月22日(火) | ～ 1月17日(月) | 798人 |
| 近世奈良の茶人 久保権太夫(長閑堂) | 1月13日(水) | ～ 2月21日(日) | 1,627人 |
| 春日大社の御田植行事/月ヶ瀬梅溪 | 2月23日(火) | ～ 3月31日(水) | 1,713人 |
| ※クイズに挑戦！(わらべうたフェスタ参加企画・WEB開催) | | 10月18日(日) | |



●企画展示 展示解説
(令和2年10月3日撮影)



●奈良町にぎわいの家 出張展示
(令和2年9月12日撮影)

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財講座開催事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年	
支援事業名	市単独事業(一部共催)	
計画に記載している内容	市民を対象に、文化財についての理解を深める講座を開催する。 ・市内各地域の文化財が対象となるよう計画する。・市指定文化財を活用する。・成人向け講座と小学生とその保護者向け講座を開催する。・内容に応じて、講義・現地見学・体験を適宜組み合わせる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・奈良市文化財講座「奈良の文化財をもっと知る講座2020」 (1) 11月28日「昔のくらし体験～かまどでごはんを炊こう!～」 参加者(小学生・保護者) 5名 (2) 2月7日「城から見た松永久秀」 参加者 134名		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 ●奈良市文化財講座(1) 令和2年11月28日撮影 「昔のくらし体験～かまどでごはんを炊こう!～」  ●奈良市文化財講座(2) (令和3年2月7日撮影) 「城から見た松永久秀」		

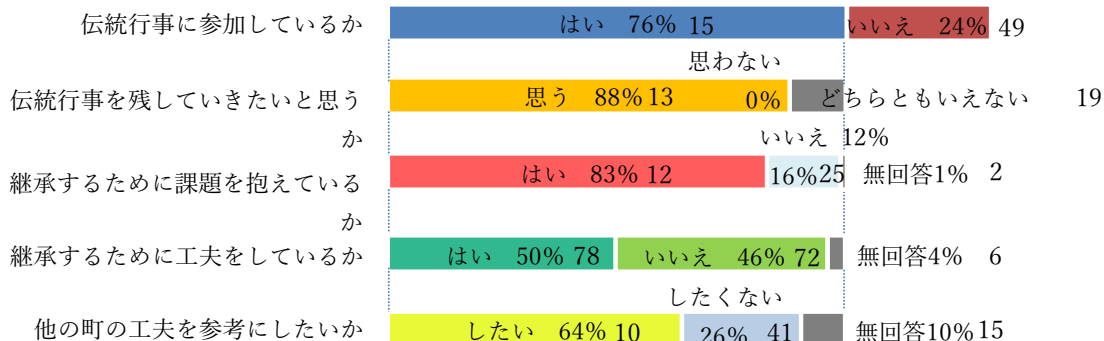
評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
地域の伝統行事発信事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	奈良町で継承されてきた民間信仰(春日講、伊勢講、地藏講、庚申講、観音講など)に由来する伝統行事やお祭りなど、地域住民が主体的に取り組んでいる行事を調査し、発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は、事業の最終年度の総集編として、自治会長、まちづくり団体、個人向けにアンケートを実施。地域の伝統行事に対する考え、伝統行事を実施する上での課題、工夫などをアンケート調査した。また、奈良町歳時記として、奈良町地区で行われている地域の伝統行事154行事を、アンケート結果とともにまとめ、地域住民、観光客向けの冊子を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●自治会アンケートの結果(回答数:205自治会/奈良町及び奈良公園地区とその周辺307自治会中 回答率:66.8%)



●作成した冊子(一部)



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財調査、指定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	未指定文化財を中心に文化財基礎調査を実施 奈良市指定文化財の指定、登録文化財の登録	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・近世近代建造物調査、歴史資料調査を実施。 ・奈良文化財研究所との連携研究として実施してきた庭園調査の報告書を作成。 ・各文化財分野で行ってきた調査の成果をもとに、市指定文化財に2件を新たに指定。登録文化財は、奈良町の町家等の登録を進めており、当市から1件(1か所)について新たに意見具申した。また、当市からの意見具申に基づき新たに10件(5か所)が登録された。引き続き、候補物件の調査等を進めている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		



●近世近代建造物調査
(令和2年12月3日撮影)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全、など		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業、史跡興福寺旧境内記念物保存修理、名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業等、建造物や記念物の修理・整備事業の実施、ナラ枯れ対策などの取り組み

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

評価軸③-2参照。
名勝旧大乘院庭園の管理(荒廃防止)事業に補助金交付。
国、県、市指定の建造物、記念物等の文化財(16件)と文化財保存公開施設(3か所)の管理(委託)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



●史跡興福寺旧境内記念物保存修理
評価軸③-2参照
(令和3年4月13日撮影)



●名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業
(令和2年7月22日撮影)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の防災			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	防災対策への補助金の交付 自主防災体制の充実、強化を図るため、定期的に防災訓練や広報を実施 文化財所有者と合同の消防訓練等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東大寺金堂(大仏殿)ほか22棟防災施設整備事業、薬師寺東塔防災施設整備事業等に補助金を交付(建造物の防災事業)。 東大寺木造公慶上人坐像防災設備事業に補助金を交付(美術工芸品の防災事業)。 例年、消防局と文化財所有者の合同の文化財消防訓練や、文化財防火に関する講演会等を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



●薬師寺東塔防災施設整備事業
(令和2年12月17日撮影)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財講座開催事業・文化財解説板整備事業・史料保存館活用事業 指定文化財の保存管理や継承を担っている団体に対して補助金を交付 団体と適宜連携し、市民と行政の協働による文化財の保存・活用を推進		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
評価軸③-23、③-26、③-27参照。 奈良市文化財講座の(1)は市教育委員会と奈良市生涯学習財団都跡公民館の共催。 令和2年度、文化財関係9団体に計7,040千円の文化財補助金を交付。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-23、③-26、③-27参照



●奈良市文化財講座(1) (令和2年11月28日撮影)
 「昔のくらし体験 ～かまどでごはんを炊こう!～」 市民5人(小学生と保護者)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和2年度
年月日		掲載紙等	
令和2年度は報道無し			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は報道無し			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
令和2年度は報道無し			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目		評価対象年度	令和2年度
「観光の振興」に向けた官民協働の取組			
計画に記載している内容	「ならまち賑わい構想」(平成4年策定)、「新奈良町にぎわい構想」(平成29年策定)を基に、奈良町を中心に歴史的風致を生かす観光振興に官民協働で取り組んでいる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
ならまちにある公共施設、民間施設、企業、各種団体が、例年、ならまち内の各会場で展示や模擬店を行う「ならまちわらべうたフェスタ」は、令和2年で28年目を迎えた。今年度はコロナ禍での開催となり、例年行っている回遊企画を自粛して、Web配信で開催した。 また、令和元年度に地域住民やNPO団体との協働により運営されるまちかど観光案内所が新たに1か所オープンし、合計で3か所となった。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
●わらべうたフェスタ 「ならまちをわらべうたの似合うまちに」「ならまちからわらべうたを世界に発信しよう」を合言葉に、産官学民連携による実行委員会形式で開催している。 今年度は、わらべうたフェスタポータルサイトを立ち上げ、「おうちでならまちわらべうたフェスタ」と題し、参加団体の企画をWebで配信した。[HPアクセス数: 1,795件][動画視聴・再生回数: Live配信1,094回、再			
		 	
		●わらべうたフェスタオープニング配信の様子 (令和2年10月18日撮影)	
●まちかど案内所 地域住民による歴史的建造物の保存と利活用の要望により、地域の歴史観光資源として、官民が連携し地域住民等が運営するまちかど観光案内所を開設している。			
・旧鍋屋交番きたまち案内所(奈良市きたまち鍋屋観光案内所) 元旧奈良警察署鍋屋連絡所(明治41年設置、昭和3年に現在の半田横町に移転)を修理し、きたまちの玄関口として、地域の観光案内や地域活動の活性化、大学の研究・教育拠点として利活用し、地域に根差したイベントも実施している。 (令和2年度:きたまち大学校 12月20日(日)開催 120名参加)			
		●旧鍋屋交番きたまち案内所 (奈良市きたまち鍋屋観光案内所)	
・奈良市きたまち転害門観光案内所 元南都銀行手具支店だった建物を修理し、地域のまちづくり団体、ボランティアにより、地域の観光案内や地域活動の活性化などに利活用中。			
		●奈良市きたまち転害門観光案内所	
・京終駅観光案内所 JRの駅舎(明治31年建築)を改修し、地域のまちづくり団体により、駅の待合所と地域の観光案内所やカフェが併設した施設として利活用し、地域に根差したイベントも実施している。 (令和2年度:お店づくりスクール約40名、クリスマスツリー点灯)		  	
		●お店づくりスクール様子(令和2年12月5日撮影) ●クリスマスツリー(令和2年12月24日撮影) ●京終駅観光案内所	

評価対象年度	令和2年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 第11回 なら歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時： 令和3年2月24日(水) 午後1時30分～	
(コメントの概要) 歴史的風致維持向上計画内の事業については、おおむね計画通り進んでいると思う。ただ一部事業については進捗が遅れているものもあると思われるので、それらの事業については令和6年までの完了を目指し、難しい場合には、第2期計画において継続して進めるようにしてもらいたい。 コロナ禍の影響も含めて、奈良市の方針の変更が進捗評価シートでは見えてこない。コロナ禍後における風致の維持・向上のあり方について、あらためて考えていく必要がある。また、コロナ禍の影響だけでなく、上位計画である奈良市第4次総合計画が第5次に移行すること、さらにはその他の国の政策による新たな展開など考えると、計画期間中にはさまざまな状況の変化が予測される。当初計画に則り、毎年適切に進捗を管理することが進捗評価の主旨ではあるが、今後の新しい方向性については、大幅な変更に関しては計画に追加で盛り込むなどの対応が必要であり、また計画に盛り込むほどではない軽微な変更の場合は、協議会等で十分な説明を求めたい。	
(今後の対応方針等) 各事業の進捗については、令和6年までに事業が終了しない場合は、第2期計画でも継続するようにしていきたい。 また、withコロナにおける風致の維持・向上については、今後の社会情勢に合わせて適切に対応し、その他の新たな展開についても、計画での対応や協議会等での説明を適宜行っていく。	